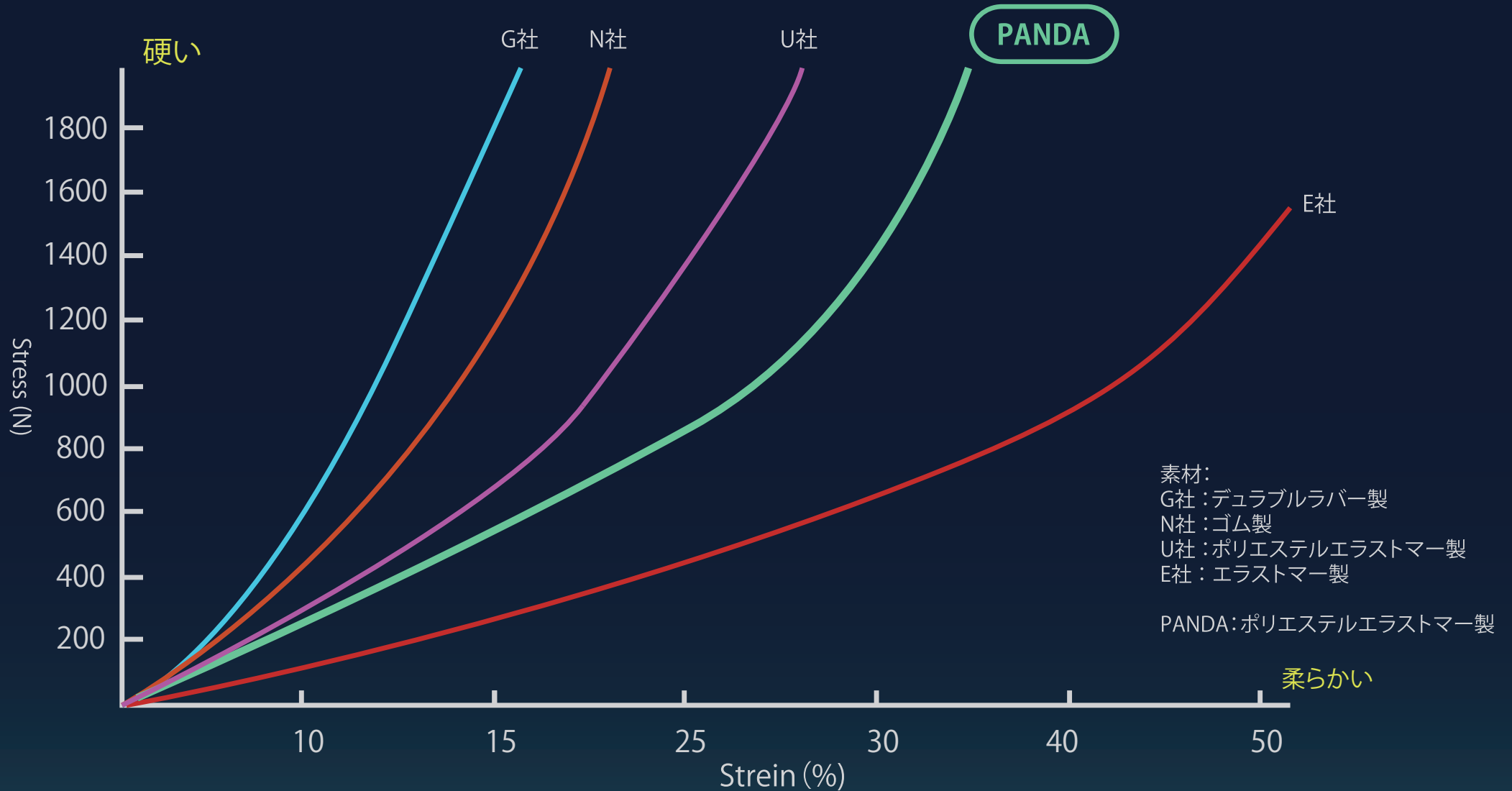


PANDA 製プラグと他社製プラグの性能グラフ (自社調べ)



自社での圧縮試験機を用いた実験結果による比較
※各社10回の繰返し圧縮荷重による平均値

G社、U社は Vプラグ N社、E社はオーバープラグ
Vプラグは、中芯があるため変形が大きくなると応力(反発力)が強くなる
オーバープラグは中芯がないため、素材・硬度を調整しないと硬すぎたり、柔らかすぎたりする



PANDA製はオーバープラグながら、素材選定(物性、硬度)と内部構造を工夫して
①初期の変形(ボックス衝突時)の衝撃はソフトに
②ポールが大きく湾曲した際にはしっかりと支えて、
安定性と反発力をVプラグに近づけることで衝撃吸収性とプラグ変更の違和感を軽減